

令和 6 年度

東北支社管内北地区 道路構造検討業務

特 記 仕 様 書 (案)

令和 6 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 東北支社

総合企画部 総合企画課

第1章 総則

1-1 調査等業務概要

- 1-1-1 調査等名 令和6年度 東北支社管内北地区 道路構造検討業務
- 1-1-2 道路名 日本海東北自動車道、秋田自動車道、山形自動車道
- 1-1-3 履行箇所 日本海東北自動車道、秋田自動車道、山形自動車道
- 1-1-4 業務内容

本業務は、日本海東北自動車道(鶴岡JCT～酒田中央IC及び岩城IC～河辺JCT)、秋田自動車道(秋田南IC～昭和男鹿半島IC)及び山形自動車道(鶴岡IC～鶴岡JCT)のⅡ期線について、道路概略設計を実施するものである。また日本海東北自動車道(鶴岡JCT～酒田中央IC)及び山形自動車道(鶴岡IC～鶴岡JCT)について、設計速度100km/h、構造適合速度100km/hの各々に適合させた場合における課題抽出等を行うものである。

1-1-5 主な履行内容

項目	単位	数量
現地踏査	式	1
道路概略設計B	式	1
道路幾何構造検討	km	22.3
設計打合せ	式	1

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-1-3 「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 120 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 540 日間（まで）

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-1-5-1 に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務	貸与予定日	備考
完成図	山形自動車道・日本海東北自動車道の完成図一部	契約締結の日の翌日より 7 日以内	紙、電子データ（TIFF データ）または電子成果品
報告書	東北支社管内北地区 地質リスク検討業務 東北支社管内西 地質リスク検討業務		

1-6 計画工程表

1-6-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1-4-1 「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表の作成

にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1－5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1－9－3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項 目	単 位	数 量	備 考
現地踏査	式	1	
道路概略設計 B 設計計画	km	64.70	
道路概略設計 B 各種図面作成	式	1	平面図・縦断図・標準横断図・横断図
道路概略設計 B 数量計算	km	64.10	
道路幾何構造検討	km	22.3	
道路設計 設計打合せ	式	1	

1－6－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

1－7 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 現地踏査

受注者は、本特記仕様書2-2「道路概略設計B」の履行に必要な現地状況等の基本的事項を把握することを目的として、共通仕様書5-3-2「概略設計」に示す(1)現地踏査を行うものとする。

2-2 道路概略設計B

2-2-1 設計条件

設計条件は、以下のとおりとし、本特記仕様書1-1-4「業務内容」に基づき、Ⅱ期線(片側2車線)の道路概略設計Bを行うもの。

設計区間	道路規格	設計速度
山形自動車道 鶴岡IC～鶴岡JCT 日本海東北自動車道 鶴岡JCT～酒田中央IC	第1種3級	80km/h
秋田自動車道 秋田南IC～昭和男鹿半島IC 日本海東北自動車道 岩城IC～河辺JCT	第1種2級	100km/h

2-2-2 設計延長種別

設計延長種別は、以下のとおりとする。

種別	平地部	山地部	急峻山地部	橋梁部	トンネル部
延長	42.07km	3.14km	13.48km	5.41km	0.60km

※橋梁部、トンネル部の地形区分は平地部とする。上記延長は現時点で想定している延長であり、設計延長等を大幅に変更する場合は、別途監督員と受注者で協議を行うものとする。

2-3 道路幾何構造検討

道路幾何構造検討とは、第1種第3級道路における規制速度の向上を目的とした、道路構造上の課題抽出等を行うものをいう。

2-3-1 検討区間

本項目の検討区間は以下に示すものとし、4車線区間および暫定2車線区間の将来車線を含む4車線全体を検討対象とする。

路線名	区間	延長
山形自動車道	鶴岡 I C～鶴岡 J C T	2.5 km
日本海東北自動車	鶴岡 J C T～庄内空港 I C	7.8 km
	庄内空港 I C～酒田 I C	7.1 km
	酒田 I C～酒田中央 I C	4.9 km

2-3-2 検討内容

4車線供用済区間の完成図や暫定2車線区間の4車線化概略設計の当該業務成果から、各検討区間における片勾配や曲線半径、視距、幅員等の道路構造要素を整理し、道路構造令及び設計要領 第四集 幾何構造（本線幾何構造編）の第1種第2級（設計速度100km/h）、警視庁「交通規制基準」の構造適合速度100km/hの各々に適合させた場合における課題抽出等を行うもの。

なお、本項目には現地踏査、概算工事費の算出、図面作成は含まないものとする。

2-4 打合せ

本業務における打合せの回数は下表のとおりとする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。

ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

区分	打合せ回数	備考
当初打合せ	1	現地踏査に含む
中間打合せ	6	
業務内容確認検査	1	
完了検査	1	

2-5 交通費・日当・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・日当・宿泊費には、調査打合せ及び現地踏査に必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

2-6 成果品

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

以 上